

ひLB通信

～子どもたちと向き合う
時間の確保に向けて～

2025.12
Vol.15

発行：青森県教育庁教育政策課学校の幸せ推進室（〒030-8540 青森市長島1-1-1）

教育行政の取組
事例を紹介！！



つがる市教育委員会

「月2回の午前授業」で余白を創出！



つがる市教育委員会では、今年度より市内全小・中学校を対象として、「月2回の午前授業カリキュラム」を導入しています。その経緯や効果等について、担当者へインタビューしました！

Q. 実施しているカリキュラムの具体は？

A. 市内すべての小中学校において、長期休業期間を除く各月の第2水曜日及び第4水曜日を原則午前授業とし学校部活動も実施しないこととしています。ただし、各学校の行事等を考慮し、校長の判断で隔週水曜日の設定を変更することも可能としています。各校の日課表によりますが、給食終了後、清掃や短学活を行い、概ね13:30には下校することになります。

Q. 導入のきっかけは何ですか？

A. 各校では、これまで日課表の見直しや会議の短縮、定時退勤日の設定など様々な改善策を実施してきましたが、時間外在校等時間の縮減や年次休暇の取得促進が停滞傾向にありました。このため、抜本的な業務改善が必要と判断し、委員会主導で本取組を導入しました。

Q. 実施に至るまで困難だったことは？

A. 教職員や保護者から放課後の児童生徒の過ごし方について心配する声がありました。「児童生徒の安全確保」と「居場所の提供」が課題です。このため、福祉部局に取組の趣旨（教員の働き方改革）を丁寧に説明し、学童保育クラブとの連携等、理解と協力を得ました。また、PTAや各家庭の協力のもと、緊急時の連絡体制（緊急連絡メール）を構築し、安全面の不安解消を図っています。さらに、この取組は副次的に、児童生徒が放課後の過ごし方を主体的に考える機会となるなど教育的な意義があることも関係者に伝えています。

Q. 他市町村教育委員会へ向けてメッセージを！

A. 本取組は、直接的に業務量を削減するものではありませんが、定期的な「余白時間」の確保は、時間に対する見通しと心の余裕が生まれ、結果として時間外在校等時間の確実な縮減と計画的な年次休暇の取得を可能にし、教職員のワークライフバランスの改善につながっているようです。働き方改革を、「個人の努力」に頼るのではなく、「組織の仕組み」として定着させることも重要と思われます。本取組が参考になれば幸いです。

三戸町教育委員会

アプリ活用で集金業務の負担を軽減！



三戸町教育委員会では、すでに導入していた保護者連絡アプリを活用して、そのアプリの拡張機能である「集金サービス」を全小・中学校に今年9月から導入しました。その経緯や効果等について、担当者へインタビューしました！

Q. 導入のきっかけは何ですか？

A. 学校徴収金の集金業務については、かねてより学校から事務負担の軽減について相談を受けており、サービスの導入についても要望がありました。また、銀行等を介すことなく、すでに導入済みのアプリ上で保護者の口座登録ができるので、導入へのハードルも低いと考えました。経費についても、他のシステムより安価であったため導入を決断しました。

Q. どのような機能ですか？

A. ・毎月の徴収金を自動振替
・集金日・集金額を自通配信
・未納者への通知配信

Q. 導入したことによる効果・メリットは？

A. ・集金袋の作成・配付・回収、現金の確認作業が不要になる。
・未納者への督促に係る事務負担が軽減される。
・取りまとめた現金を銀行へ持参・入金する事務職員の作業が軽減される。
・学校での現金事故のリスクがなくなる。
・現金を都度用意する保護者の手間がなくなる。

学校からの声

- ◆これまでには、デリケートでリスクのある現金の取り扱いなど、責任が生じる事務にプレッシャーと大きな負担を感じてきました。今はそのような状況が解消され、とても楽になり助かっています。また、アプリから直接保護者に集金日が通知されるので、児童が集金袋を保護者に出し忘れることで生じる「保護者が集金日を知らなかった」というトラブルも無くなりました。（小学校担任）
- ◆生徒登校後に行ってきた集金出し忘れの確認や、徴収額の違いに配慮した一人ずつ手渡しの集金袋配付が不要になるなど、以前に比べ格段に楽になりました。システムを導入していただき本当にありがとうございます。（中学校担任）
- ◆集金袋の作成や現金の取り扱いなど、一連の事務作業や処理に要する時間がかなり削減され、事務職員としても非常に楽になりました。また、設定についても保護者が既存の口座を指定・登録するだけなので、このためにわざわざ口座新設する必要もありません。学校・保護者双方にとって、利便性の高いシステムであると感じています。（事務職員）

Topic!

本校の電話に
録音告知機能
を導入しました！

青森県立名久井農業高等学校の取組紹介！



名久井農業高等学校では、今年5月より「音声ガイダンス・通話録音機能」を導入しています。その経緯や効果等について、教頭先生と事務長さんにインタビューしました！

Q. 導入のきっかけは何ですか？

A. 匿名によるクレーム電話が複数件あり、応対した職員が長時間仕事の手を止めざるを得ない状況がありました。そこで管理職で対応を検討し、その解決策として導入を決めました。

Q. どのような機能ですか？

A. 録音を告知する内容の音声ガイダンス及び通話内容の録音です。

Q. 導入したことによる効果及び職員の反応は？

A. 高圧的なクレーム電話はなくなり、セールスの電話もかなり減っています。一定の抑止力があり、「トラブルになった際の証拠になる」という安心感があるので職員にも好評です。また、「自分自身も気を付けなければ」という職員の意識向上にもつながっています。

Q. 導入を検討している学校へメッセージを！

A. ゼビおすすめです！抑止力や安心感に加えて、学校の応対品質向上にもつながります。ワンクッションおくことでお互いが冷静に対応できる便利な機能です！